

## 関西電力（株）第 95 回定時株主総会における寺崎副市長発言要旨

○ 原子力発電所で事故が発生すれば、その影響は甚大であり、原子力発電所の安全性確保は関西電力の最優先課題であると考えている。市民に対する安全な暮らしの保障なしには原子力発電所の稼動を容認することは出来ない。

○ 将来に渡り、安定的で強固な経営基盤を維持するためには、水素を含めた再生可能エネルギーの導入を強力に進める必要がある。早期に原子力発電に依存しないエネルギーのベストミックスを構築し、実現することこそ、関西電力に課されている使命であると考えている。原子力発電所の安全対策と過度に原子力発電に依存しない経営基盤の構築について伺う。

○ 近年、自然災害が多発している。自然災害により停電が発生すれば、市民は不安で不自由な生活を余儀なくされる。神戸市では、今年の台風 20 号によって全世帯の約 8 パーセントである約 55,000 世帯が停電となり、台風 21 号によって全世帯の約 6 パーセントである約 45,000 世帯が停電となった。全世帯が復旧するまで数日かかり、市民への影響は非常に大きいものであった。

電気は重要なライフラインであり、停電による市民の生活に対する影響は、最小限に抑える必要があると考えている。近年の自然災害の状況を踏まえた災害対応の強化について、経営陣からの力強い回答をお聞きしたい。